

キャラクター名
霧生 ヒョウガ

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー		ワークス	レネゲイドビーイングD	カヴァー	UGNエージェント
	パロール					
オプション			年齢	1年未満	性別	人間体は男性
覚醒	償い	衝動	恐怖	初期侵食率	40 %	
出自	最後の希望	経験	研究機関	邂逅	いいひと	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	2	0	0			2	行動値	5
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	5
精神	3	0	0			3	戦闘移動	10
社会	2	1	0			3	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉	1	
回避	1		知覚			意志	2		調達	5	
運転:			芸術:彫刻(氷の)	1		知識:			情報:UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
水晶の盾(クリスタルシールド)		-1	12	0		
通常ガード						侵蝕9。G値 21+3d~24+4d。
HPダメージ軽減						侵蝕6。軽減4(7)d~5(8)d。

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
水晶の盾(クリスタルシールド)					
収納付きプレスレット(ウェポンケース)					
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費	
D:転生者	P	N			
雪永コハク	P 友情	N 悔悟			
氷崎ヒョウリ	P 親近感	N 劣等感			
シナリオ	P	N			
PC	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	16	残り財産P:	0		

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ヒューマンズネイバー	1	-	常時	-	-	-	RB	
効果: 衝動判定+[Lv]d								
オリジン:プラント	1	2	マイナー	至近	自身	-	RB	
効果: 感覚判定+[Lv x2]。シーン継続								
妖精の手	1	8	オート	視界	単体	-	100↑	
効果: +1dx								
虚無の城壁	3	2	セット	至近	自身	-	-	
効果: G+[Lv x3]								
炎陣	1	2	オート	至近	自身	-	-	
効果: カバーリング								
氷雪の守護	3	3	オート	至近	自身	-	-	
効果: HPダメージ-[Lv+1]d								
ダイヤモンドダスト	1	3	オート	至近	自身	-	リミット	
効果: 前提:氷雪の守護。さらに-3dする。								
グラビティガード	3	3	オート	至近	自身	-	-	
効果: G+[Lv]d								
孤独の魔眼	1	4	オート	視界	効果	-	4	
効果: 範囲(選択)を単体へ変更。								
時の棺	1	10	オート	視界	単体	-	100↑	
効果: その判定は…失敗する!								
氷の理	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

霧生 ヒョウガ(きりゅう)

一人称:ボク
二人称:キミ
口調:~だよね。~だよ?等、少し大人しい口調。
性格:控えめで、大人しい。微笑みを浮かべているが、少し影がある。その実、少々寂しがり屋だがあまり口に出さない。

ネモフィラのレネゲイドビーイング。道端に咲いていた小さな花に、意識が宿ったもの。

……というのが、今の彼の"身体"の状態である。
彼を構成するレネゲイド・意識・記憶は、以前『名も無きクローン』として活動していた彼のもの。
ジャームとなった彼はある事件にて討伐されたが、最後に残ったレネゲイドが咲いていたネモフィラに宿り目覚めたのだ。

目覚めた彼は、UGNに保護されている。UGNで活動しつつ、自分を終わらせてくれた人を探している。
名前は、ジャームとなった以前の自分を終わらせてくれた人がつけてくれたもの。コードネームは、レパードシリーズに則って付けられているが本人はあまり好きではない模様。(トラウマとなっているオリジナルのことを思い出すから)

同じクローン体である氷崎ヒョウリには、事件に巻き込んで悪かったという思いがある。
しかし彼からは同じクローン体、兄弟として受け入れられておりそれなりに仲は良好な模様。ヒョウガが弟ポジ。
オリジナル、氷崎ヒョウリにはとてつもない恐怖とトラウマを抱えている。思い出す度に過呼吸になりかけるほど。できれば会いたくないし、早く誰かが討伐してくれないかなと願っている。